

授業科目名 <英訳>	医療統計学実習 Introduction to Statistical Computing and Data Management				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 医学研究科 助教	佐藤 俊哉 米本 直裕				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	火3,4	授業 形態	実習	使用 言語	日本語

【授業の概要・目的】

医療統計学実習では、医療統計学講義で学んだ医療統計の考え方を実際に目で見て、体験することを目的とします。医療統計学の理解を深めるためにはお勧めの実習です。統計ソフトJMPによる簡単な集計、解析、プログラミングを実習します。実習のレポートはワープロソフトWordで作成してもらいます。図表などは表計算ソフトExcelを使って作成します。プレゼンテーションはプレゼンテーションソフトPowerPointを用いて行います。これらのソフトの使い方も学びます。

統計ソフトJMPは京都大学でライセンス契約しています。医学研究科の学生さんは医学研究科ホームページの、

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/software/JMP/>

から、実習で使用するノートパソコンにJMPをダウンロード・インストールしてください。みなさんの個人のパソコンにもインストールできますので、ノートパソコンなどにインストールして実習に持ってきてください。

【到達目標】

- ・ワープロを使ってすばらしいレポートを書く
- ・表計算ソフトを使って集計し、すばらしい図表を作成する
- ・プレゼンテーションソフトを使ってすばらしい発表をする
- ・統計ソフトを使ってすばらしい集計と簡単な統計計算を行う

【授業計画と内容】

第1回	4月11日	イントロダクション、表計算ソフトを使う
第2回	4月18日	統計ソフトJMPを使う
第3回	4月25日	グループ実習1: テーマ選択・データ収集
第4回	5月2日	グループ実習2: データ収集
第5回	5月9日	グループ実習3: 集計、解析
第6回	5月16日	グループ実習4: プレゼンテーション
第7回	5月23日	ランダムにわけてみよう
第8回	5月30日	リスク比、リスク差、オッズ比の不思議
第9回	6月6日	割合の差の検定と帰無仮説のほんとうの意味
第10回	6月13日	「95%信頼区間は95%の確率で真の値を含む」わけではない
第11回	6月20日	2×2表を解析する
第12回	6月27日	サンプルサイズを計算していかに多くの対象者が必要かをしる
第13回	7月4日	ランダムサンプリングしてみる
第14回	9月12日	発表会1
第15回	9月13日	発表会2

【履修要件】

- ・演習室のスペースが32名までですので、社会健康医学系専攻の履修者を優先します
- ・人間健康科学系専攻の学生さんの受け入れはしていません
- ・医科学修士、医学博士課程の受講希望者は事前に連絡してください
- ・レポートを書いたことのない人は、レポートの書き方に関する書籍などを読んでおいてください

----- 医療統計学実習(2)へ続く -----

医療統計学実習(2)

注 この実習は9月に発表があります

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポートとプレゼンテーション

- ・ 毎回レポートを提出してもらいます
- ・ 班ごとのプレゼンテーション
- ・ 個人ごとのプレゼンテーション (9月)

[教科書]

必須ソフト：JMP

毎回「実習の手引き」を配布します

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

毎回レポート提出があります

(その他(オフィスアワー等))

- ・ 医療統計学実習を履修していないと後期「解析計画実習」は履修できません。
- ・ 毎年スペース以上の履修希望者がいて、希望通りに受け入れられない状況ですが、例年、途中から「参加できなくなった」という学生さんがいます。参加できなくなる可能性のある人は受講を遠慮してください。
- ・ 途中からの参加は認めません、必ず初回から出席してください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。